



文理の知がつながる  
自由の学府で、  
未来を拓く  
環境リーダーへ

ENVIRONMENTAL LEADERS  
FOR THE SUSTAINABLE FUTURE

# 立教大学環境学部について

2025年度地域脱炭素化に向けた  
大学における環境人材育成の検討会

2025年10月10日

立教大学 環境学部開設準備室 教授

二ノ宮リム さち

学部・学科名称: 環境学部 環境学科

Department of Environmental Studies,  
College of Environmental Studies

学位名称: 学士(環境学)

Bachelor of Arts and Sciences

入学定員: 204名

収容定員: 816名

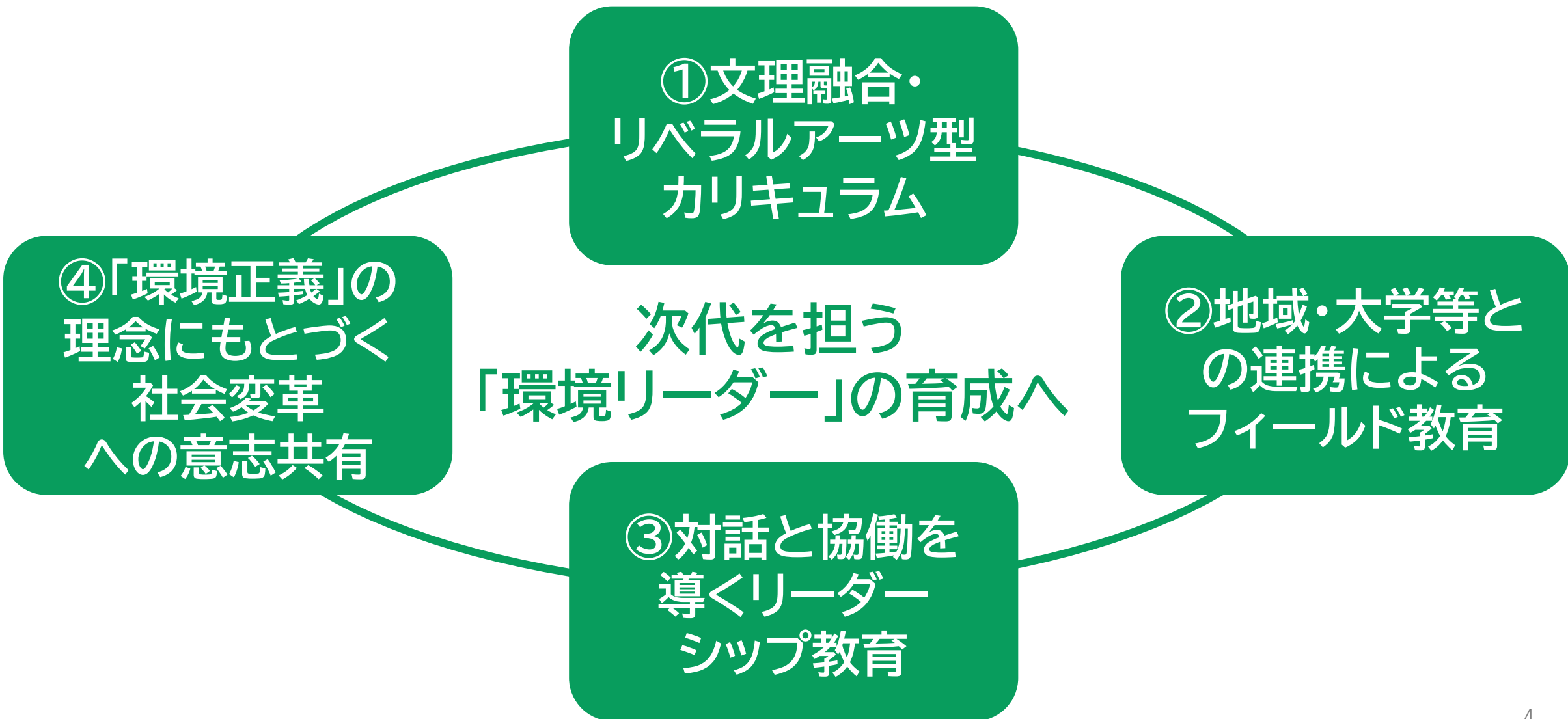
基幹教員: 18名

設置場所: 立教大学 池袋キャンパス



環境学部は、自然環境と人間の関係を複合的な視点でとらえ、環境問題の解決と持続可能な社会への変革に貢献できる力の育成を目的とする。

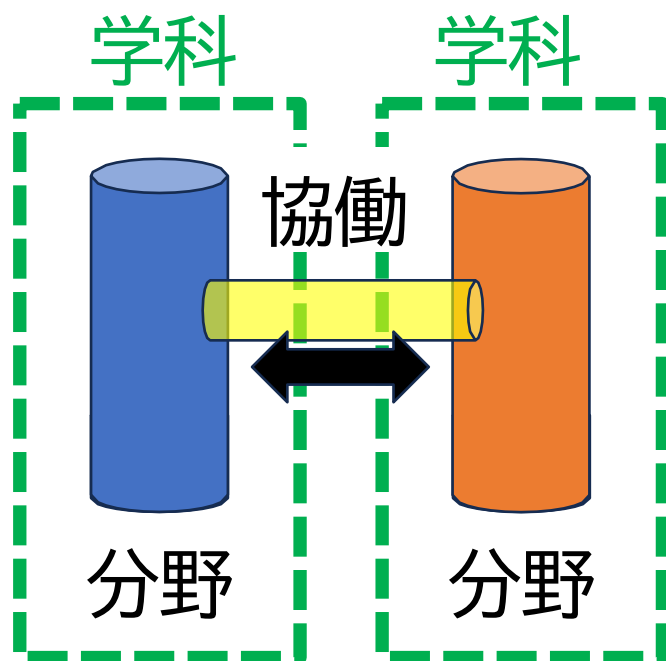
文理の枠を超えて幅広く知識を身につけ、現実の課題と結びつけながら活用できる能力と、環境正義の概念を理解し、自らの強みを活かしながら、対話と協働の関係を構築できるリーダーシップを養う。



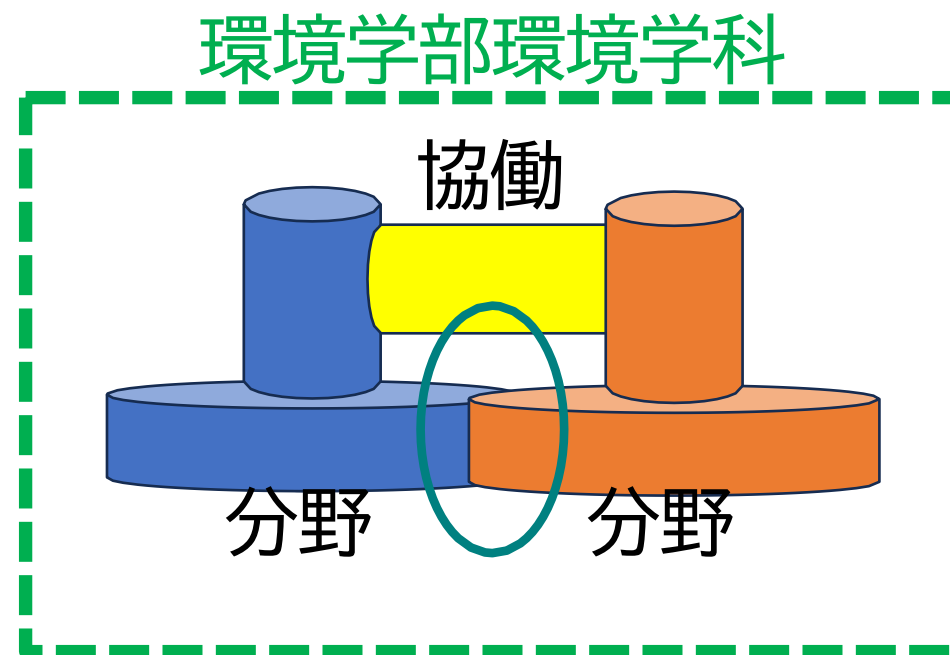
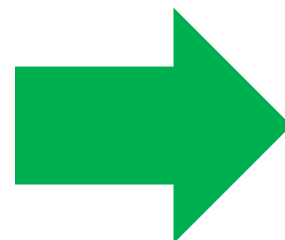
# ①文理融合・リベラルアーツ型カリキュラム



文理を横断・融合して「環境」を学ぶリベラルアーツ型カリキュラム



分野間に距離が  
できてしまう



分野間の交流・つながり

環境化学／生命科学／気候力学／環境デザイン学／  
環境工学／環境史学／環境政策学／環境経済学／  
環境法学／環境社会学／環境教育学など

# ①文理融合・リベラルアーツ型カリキュラム



全員が総合／自然科学・工学／人文・社会科学の科目を必ず履修

## 総合型科目(必修・選択必修)

文理の壁を越えて複数  
教員が担当する共同講義  
⇒様々な視座を得る  
⇒統合的な見方

「リベラルアーツとしての環境学原論」必修

「環境科学入門」必修

< 基幹科目A (環境総合) > 4単位以上

「気候変動とCN」「生物多様性とNP」「資源循環とCE」  
「環境汚染・公害とわたしたちの社会」など

## 専門科目(選択必修・選択)

専門性を深める  
基礎から発展まで  
⇒視座を高める  
⇒深遠な見方

高校理系  
科目未履修  
の学生向け  
導入科目も

< 基幹科目B (人間と社会) > 6単位以上  
「自然環境と人間社会」「環境倫理」「環境法入門」など

< 基幹科目C (科学と技術) > 6単位以上  
「環境化学基礎」「環境地学基礎」「環境統計学基礎」など

< 発展科目 > 12単位以上

## ②地域・大学等との連携によるフィールド教育



自治体・地域団体・大学等と連携したフィールド実践系科目の充実

⇒ 長崎県対馬市、北海道羅臼町、酪農学園大学(北海道江別市)等

国内外各地の環境問題・取組の現場に身を置き、様々な関係者・専門家と出会いながら、問題解決に向けた実践力を養う

完成期

国内外の地域・企業・団体  
や大学キャンパスで環境  
課題への対策に取り組む

「フィールドワーク」

「ワークエクスペリエンス」

「プロジェクト実習」

実践的スキル  
を身に着ける

「野外活動実習」

「インタープリ  
テーション実習」

形成期

地域を訪れ環境課題を学ぶ

1年次  
必修

「環境フィールドスタディ」

導入期



# ②地域・大学等との連携によるフィールド教育



## 環境フィールドスタディ(初年次必修)

全国9カ所・文理ペア教員による企画・実施  
各地の大学との連携も今後検討

実習地(予定)



テーマ:

- ✓ 世界自然遺産
- ✓ 再生エネルギーと環境保全
- ✓ 原発事故後の地域復興
- ✓ 都市と農業のバランス
- ✓ 海洋プラ汚染
- ✓ 公害と環境正義
- ✓ 野生動物と人間 など



# ③対話と協働を導くリーダーシップ教育



## 立教大学が取り組んできたリーダーシップ教育の新展開 ⇒「環境リーダーシッププログラム(ELP)」の開発



地域・企業等の環境課題に取り組む  
プロジェクト型・課題解決型学習

環境リーダーシップEL4

環境リーダーシップEL3

環境リーダーシップEL2

環境リーダーシップEL1

1年次  
全員履修



# ③対話と協働を導くリーダーシップ教育



## “シェアド・リーダーシップ”

自分の強みを活かし、他者の強みを引き出し  
対話と共創を導く環境リーダーシップ

目標を達成するために他のメンバーに及ぼす影響力

### 率先垂範

自ら率先して行動し  
他者の模範となる

### 同僚支援 環境整備

他者を支援する  
周りが動きやすい  
環境をつくる

### 目標設定 目標共有

目指す目標を決めて  
他者を巻き込む

## ④環境正義にもとづく社会変革への意志共有



「私たちの世界、社会、隣人のために」

立教学院は、この世界、社会の隣人を愛し、共に生きることのできる人間を育てます。

ことに、さまざまな状況の中で、苦しむもの、  
痛みを負って生きるものへの共感性を育みます。



“**Environmental Justice (環境正義)**”にもとづく公正な社会への変革

# ④環境正義にもとづく社会変革への意志共有



“環境正義”の理念にもとづく社会変革への意志を共有し  
それぞれの学び・アクションのつながりを確認する



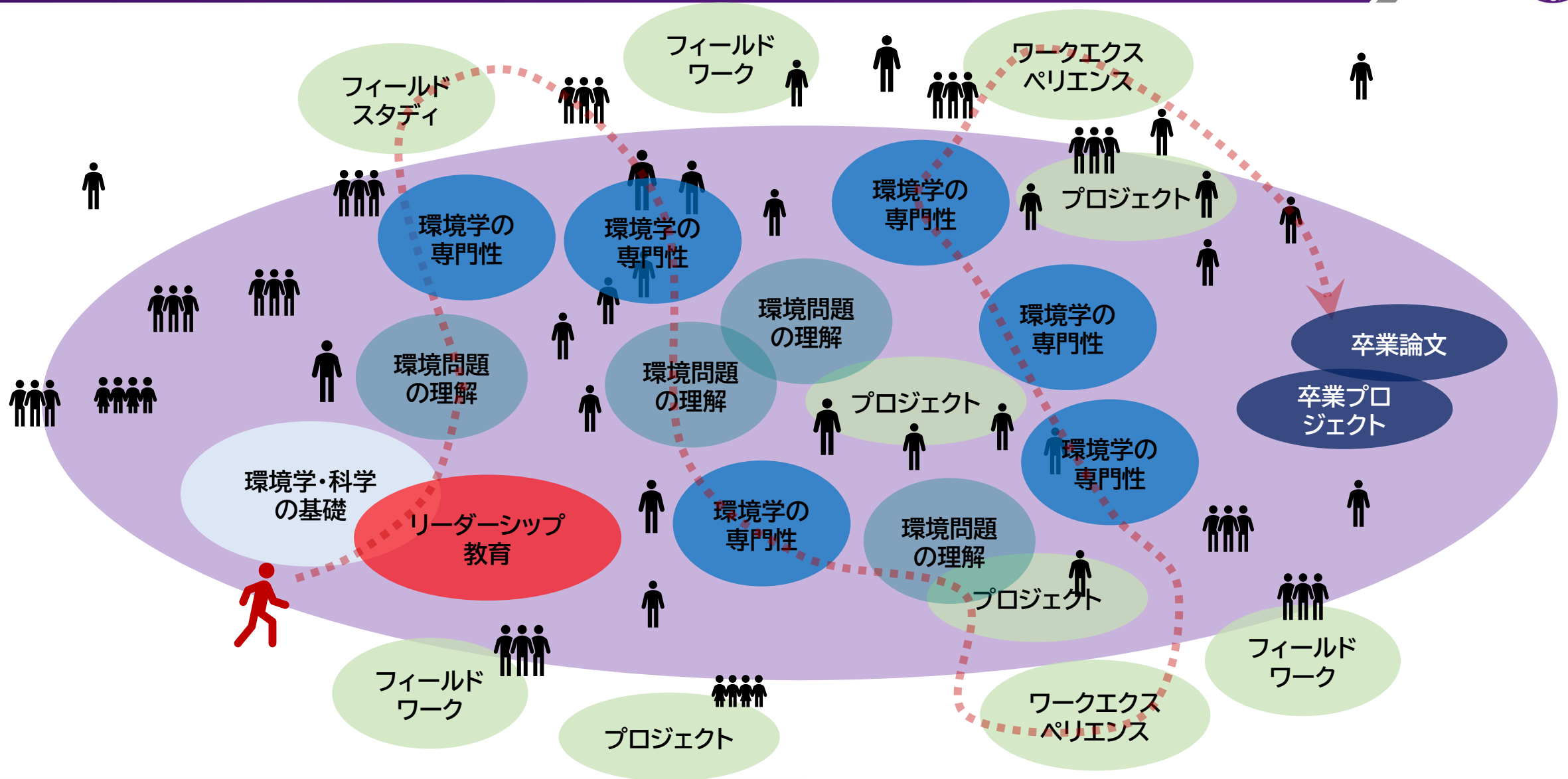
環境コロキウム：全学生が集い、自らの卒論・卒プロを共有し、  
それらのつながりや、環境学の全体像をとともに描く

卒業論文  
環境課題に対する  
研究と論文執筆

どちらか  
を選択

卒業プロジェクト  
環境課題に対する  
アクションの  
企画・実践

# 環境学部における学びの全体像



## ◆ 学内移籍

石川 淳(教授、経営学・組織心理学・リーダーシップ論)

## ◆ 2024年4月着任

小林 潤司(教授、環境化学・有機化学)

二ノ宮リム さち(教授、環境教育学・ESD(持続可能な開発のための教育)論)

## ◆ 2025年4月着任

大久保 奈弥(教授、サンゴの生物学・保全生物学)

森 朋子(准教授、環境工学・シティズンシップ教育)

## ◆ 2026年4月着任予定

相馬 拓也(准教授、地理学・環境人類学・農学国際協力)

高田 秀重(特任教授、環境汚染化学)

ほか13名:生命科学／気候力学／環境デザイン学／環境化学工学／環境史学／  
環境政策学／環境経済学／環境法学／環境社会学／リーダーシップ論など

客員教授就任予定

堅達京子(株)NHKエンタープライズ  
エグゼクティブ・プロデューサー)

平田仁子(一般社団法人Climate  
Integrate 代表理事)

立教大学環境学部ウェブサイト

<https://env.rikkyo.ac.jp/>

立教大学環境学部パンフレット

[https://www.d-pam.com/rikkyo/2514036/index.html?tm=1#target/page no=1](https://www.d-pam.com/rikkyo/2514036/index.html?tm=1#target/page%20no=1)